



平成22年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成22年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ノバレーゼ

コード番号 2128 URL <http://www.novarese.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅田剛治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田中雅樹

TEL 03-5524-1122

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	7,127	1.0	708	26.1	722	26.4	420	16.3
21年12月期第3四半期	7,196		959		981		502	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	4,145.84	4,111.85
21年12月期第3四半期	5,010.67	4,932.71

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	8,107	4,488	55.4	43,969.74
21年12月期	7,924	4,151	52.4	41,251.94

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 4,488百万円 21年12月期 4,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期		0.00		1,000.00	1,000.00
22年12月期		0.00			
22年12月期 (予想)				2,200.00	2,200.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成22年12月期 期末配当金(予想)の内訳 普通配当 1,200円00銭 記念配当 1,000円00銭

()詳細につきましては、平成22年10月12日公表の「配当予想の上方修正に関するお知らせ(記念配当の実施)」をご参照ください。

3. 平成22年12月期の業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	3.8	1,900	7.4	1,880	4.5	1,100	14.3	10,930.70

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料] 3ページ「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む) 22年12月期3Q 106,386株 21年12月期 104,940株

期末自己株式数 22年12月期3Q 4,306株 21年12月期 4,306株

期中平均株式数 (四半期累計) 22年12月期3Q 101,511株 21年12月期3Q 100,353株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料) 3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成22年1月1日～平成22年9月30日）におけるわが国経済は、海外経済の改善や政策効果等を背景に、自律回復に向けた動きも見られるようになりましたが、一方で雇用情勢につきましては失業率が依然として高水準にあり、また、不安定な為替相場の影響により景気下振れリスクが高まる等、依然として厳しい環境が継続しております。

このような状況の中、当社は国内においては引き続き新規出店を行い、前事業年度より開業準備に取り組んでおりました挙式・披露宴施設『広島モノリス』（広島市東区）を2月にオープンしました。また、上越エリアにおいても、10月に『新潟モノリス』をオープンし、9月には併設する施設内に、ドレスショップ『エクリュスポーゼ新潟店』を先行オープンし、事業エリア拡大および収益向上に努めました。この結果、当第3四半期会計期間末における婚礼プロデュース事業の受注残高（組数）は1,821組と、前年同四半期末と比べて166組増加し、今後の業績に寄与する見込みであります。また、ブライダルギフト関連につきましても、お客様のニーズにお応えし、提携による内製化を通じて収益向上を図るべく、自社で直接メーカーより買い付け、引出物として取り扱うギフト総合誌「THE TIMELESS」を3月より提供しております。なお、8月には、当社初の海外子会社となる中国現地法人を設立しました。上海市内に歴史的建造物を改装・再生したレストランをオープンし、今後もサービス産業の成長が期待できる中国市場において、当社が婚礼プロデュース事業を提供していく拠点としてまいります。

これらの営業活動の結果、通期ベースでは計画通りの進捗を見込んでいるものの、第3四半期累計期間においては、婚礼プロデュース事業、婚礼衣裳事業における前事業年度末の繰越受注高減少の影響を受けて、売上高は7,127百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

利益面につきましては、売上高が前期に比べ減少したこと、また、主に新店開業に伴うイニシャルコストが通常稼働に先行して発生したこと、ならびに今後出店を計画しております店舗の開業準備費用が先行して発生しております影響で、営業利益は708百万円（前年同四半期比26.1%減）、経常利益は722百万円（前年同四半期比26.4%減）、四半期純利益は420百万円（前年同四半期比16.3%減）となりました。

なお、事業の種類別売上高については以下のとおりです。

婚礼プロデュース事業

当第3四半期累計期間におきましては、前事業年度に開店した都市型ゲストハウス（姫路モノリス）および再生型施設（三瀧荘）ならびに第1四半期会計期間に開店した都市型ゲストハウス（広島モノリス）がそれぞれ業績に寄与したものの、前事業年度末の繰越受注高減少の影響を受けて、婚礼プロデュース事業の売上高は2,733百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

婚礼衣裳事業

当第3四半期累計期間におきましては、前事業年度に開店したドレスショップ『ノバレーゼ広島』が業績に寄与したことや、提案営業による単価アップ等の取り組みを実施したものの、前事業年度末の繰越受注高減少の影響を受けて、婚礼衣裳事業の売上高は1,448百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

ホテル・レストラン事業

婚礼プロデュース事業と同様に、当第3四半期累計期間におきましては、前事業年度に開店したゲストハウスが当第3四半期累計期間に亘って稼働したことや、第1四半期会計期間に開店したゲストハウスがそれぞれ業績に寄与したこと、また、宴会・一般飲食が堅調に推移した結果、ホテル・レストラン事業の売上高は2,944百万円（前年同四半期比1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産総額は8,107百万円となり、前事業年度末に比べ182百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、挙式・披露宴施設の建設予定地として土地を取得したこと等により有形固定資産が244百万円増加したこと、また、投資その他の資産においては中国子会社の設立に伴い関係会社株式が増加したこと、新規開店により差入保証金が増加したこと等により232百万円増加いたしました。一方、流動資産においては、前述の通り、主に有形固定資産、投資その他の資産等の取得により現金及び預金が376百万円減少しております。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債総額は3,618百万円となり、前事業年度末に比べ154百万円減少いたしました。その主な要因といたしましては、未払法人税等が424百万円、買掛金が117百万円および未払金が277百万円それぞれ減少しておりますが、一方で前受金が413百万円、短期借入金が200百万円および長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が144百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産総額は4,488百万円となり、前事業年度末に比べ337百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、当第3四半期累計期間において四半期純利益を420百万円計上したこと、前事業年度に係る剰余金の配当を100百万円実施したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,180百万円となり前事業年度末に比べ376百万円減少いたしました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は467百万円となりました。主な要因は税引前四半期純利益を722百万円計上したこと、また、前受金の増加が413百万円となりましたが、前事業年度の利益に関する法人税等の確定支払額および当事業年度における中間納税額が664百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,105百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出が834百万円、関係会社株式の取得による支出が100百万円および挙式・披露宴施設の建設協力金方式による貸付けによる支出が108百万円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は260百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加額が200百万円、長期借入れによる収入が500百万円ありましたが、一方で長期借入金の約定返済による支出が355百万円、配当金の支払額が100百万円あったことによるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績は堅調に推移しており、第4四半期会計期間においても業績拡大に寄与する新規開業を予定しております。また、婚礼事業につきましては第4四半期会計期間に収益が偏重する季節的要因があり、第3四半期累計期間の通期計画に対する進捗率の実績は、売上高で64.8%(前年同期実績69.9%)、経常利益で38.4%(前年同期実績60.0%)と推移しております。

通期の業績予想につきましては、平成22年7月30日付「平成22年12月期 第2四半期決算短信」に公表しております予想数値のとおり推移するものと判断しております。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,844	1,557,738
売掛金	120,650	153,313
商品	80,903	30,389
原材料及び貯蔵品	83,521	86,090
その他	276,207	193,898
流動資産合計	1,742,128	2,021,429
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,729,835	3,471,777
土地	767,790	571,866
建設仮勘定	197,672	445,702
その他(純額)	536,008	497,612
有形固定資産合計	5,231,306	4,986,959
無形固定資産	59,409	74,452
投資その他の資産		
関係会社株式	145,060	45,060
差入保証金	541,633	501,757
その他	387,646	294,532
投資その他の資産合計	1,074,339	841,350
固定資産合計	6,365,056	5,902,761
資産合計	8,107,184	7,924,191
負債の部		
流動負債		
買掛金	370,987	488,852
短期借入金	200,000	-
1年内返済予定の長期借入金	523,504	430,800
未払金	385,518	662,787
未払法人税等	63,416	487,724
前受金	883,408	470,305
賞与引当金	57,230	99,500
その他	126,328	173,423
流動負債合計	2,610,393	2,813,393
固定負債		
長期借入金	931,330	879,692
その他	77,030	79,758
固定負債合計	1,008,360	959,450
負債合計	3,618,754	3,772,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	595,070	586,634
資本剰余金	454,618	446,184
利益剰余金	3,548,650	3,228,438
自己株式	109,909	109,909
株主資本合計	4,488,430	4,151,347
純資産合計	4,488,430	4,151,347
負債純資産合計	8,107,184	7,924,191

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成21年 1月 1日 至 平成21年 9月30日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 1月 1日 至 平成22年 9月30日)
売上高	7,196,716	7,127,659
売上原価	3,190,550	3,240,239
売上総利益	4,006,166	3,887,420
販売費及び一般管理費	3,046,876	3,178,884
営業利益	959,289	708,535
営業外収益		
受取利息	4,486	3,680
受取手数料	21,152	17,935
その他	8,727	6,072
営業外収益合計	34,366	27,688
営業外費用		
支払利息	11,743	13,230
その他	334	247
営業外費用合計	12,077	13,477
経常利益	981,578	722,746
特別利益		
固定資産売却益	-	22
特別利益合計	-	22
特別損失		
固定資産除却損	24,154	109
店舗閉鎖損失	56,171	-
特別損失合計	80,325	109
税引前四半期純利益	901,253	722,659
法人税、住民税及び事業税	395,431	252,738
法人税等調整額	2,985	49,073
法人税等合計	398,416	301,812
四半期純利益	502,836	420,846

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	901,253	722,659
減価償却費	339,029	405,030
賞与引当金の増減額(は減少)	46,500	42,270
受取利息及び受取配当金	4,486	3,680
支払利息	11,743	13,230
為替差損益(は益)	-	145
固定資産売却損益(は益)	-	22
固定資産除却損	24,154	109
店舗閉鎖損失	56,171	-
売上債権の増減額(は増加)	41,257	32,662
たな卸資産の増減額(は増加)	10,691	47,945
その他の流動資産の増減額(は増加)	3,684	129,594
仕入債務の増減額(は減少)	78,030	117,864
未払金の増減額(は減少)	187,835	66,613
未払費用の増減額(は減少)	16,194	10,428
未払消費税等の増減額(は減少)	93,646	35,691
前受金の増減額(は減少)	285,991	413,102
その他の流動負債の増減額(は減少)	42	773
その他の固定資産の増減額(は増加)	4,646	8,361
その他の固定負債の増減額(は減少)	5,289	2,728
小計	1,318,213	1,137,399
利息及び配当金の受取額	4,486	3,662
利息の支払額	13,576	13,471
訴訟和解金の受取額	3,600	3,600
法人税等の支払額	825,562	664,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	487,161	467,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,023,341	834,276
有形固定資産の売却による収入	-	872
無形固定資産の取得による支出	380	24,036
関係会社株式の取得による支出	15,060	100,000
貸付けによる支出	18,000	108,000
差入保証金の差入による支出	148,151	40,115
差入保証金の回収による収入	12,565	240
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,192,367	1,105,315
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	420,000	200,000
長期借入れによる収入	1,000,000	500,000
長期借入金の返済による支出	457,709	355,658
株式の発行による収入	9,030	16,870
自己株式の取得による支出	40,429	-
配当金の支払額	40,144	100,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	890,747	260,874
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	362
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	185,541	376,893
現金及び現金同等物の期首残高	1,484,788	1,557,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,670,329	1,180,844

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。